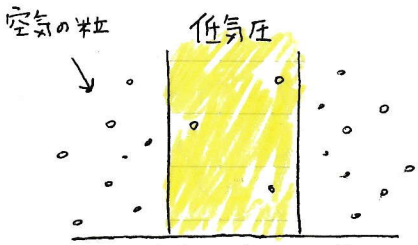
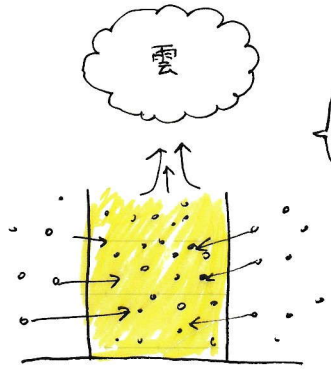
気圧配置と風や天気

低気圧について



低気圧は空気が薄い
＝
空気の粒が少ない

低気圧の周りは空気の粒が
普通にある。

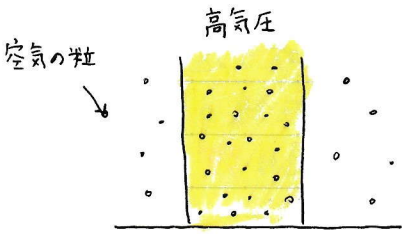


上向きの風
上昇気流

混んでるとこより
すいてるとこの方がいいし、

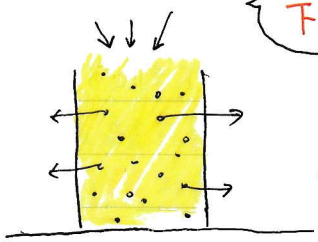
低気圧のところだけ空気の粒が少ないので、
周りから空気の粒が集まってきます。
＝
まん中にふきこんだ風はぶつかり、上へ行く。
上空で水蒸気が冷やされて水滴になり、雲に
なる。雨が降りやすくなる。

高気圧について



高気圧は空気が濃い
＝
空気の粒が多い

高気圧の周りは空気の粒が
普通にある



下向きの風
下降気流

混んでるとこから
すいてるところへ

高気圧のところだけ空気の粒が多いので、
周りへ空気の粒が吹き出す。
＝
吹き出しすぎると高気圧の中の空気がなく
なるので、上から空気が入ってくる。

低気圧	：まわりより空気が薄い ⇒ 風が吹きこむ
高気圧	：まわりより空気が濃い ⇒ 風が吹きだす